INDIGO

JP

INDIGO Series

Line Amplifier

Owner's Manual

QUALIA & COMPANY

はじめに

この度は、QUALIA INDIGO Series LINE AMPLIFIER をお買上いただきまして誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読み頂き本製品を末永くご使用下さい。

ご不明の点がございましたら、ご購入の販売店もしくは弊社までお問い合わせ下さい。

●保証登録カードと製品保証について

製品に同梱されている「保証登録カード」に必要事項をご記入の上、弊社までご返送下さい。

１．取扱説明書の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、ご購入日より3年間の無償修理を致します。
この際、販売店等へご返送される際にかかるコストについてはお客様にご負担をお願いいたします。保証の用件を満たす場合、修理完了品のお客様への返送にかかる送料は弊社が負担させていただきます。

２．保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
■使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障や損傷。
■お買い上げの後の輸送、移動、落下等による故障や損傷。
■火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障や損傷。
■一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用）に使用された場合の故障や損傷。
■保証登録をされていない場合。

●製品のカートン＆パッキングについて

製品のカートン＆パッキングは、可能な限り保存して下さい。
調整やメンテナンスなどの際に製品を輸送する場合は、必ずオリジナルのカートンを使用して、販売店または弊社にお送り下さい。
オリジナルカートン＆パッキング以外での輸送中のトラブル等は、弊社では責任を負いかねます。

●梱包の内容について

はじめに以下のものが揃っているか、ご確認下さい。

- ■ INDIGO LINE AMPLIFIER × 1
- ■ Power cable × 2（本体と電源部専用）
- ■ 本取扱説明書× 1
- ■ 保証登録カード× 1

CONTENTS

1. Introduction 1

2. Safety Precautions 2

3. 各部の名称（本体）. 3

4. 各部の名称（電源部） 4

5. Positioning and location of the units1 . . 5

Positioning and location of the units1 6

5. Connections

**Connection of Power Cable* 7

**Disconnection of Power Cable* 8

**RCA Input Jacks (A, B, C INPUTS)* 9

**Balanced XLR Input Jacks (D,E INPUTS)* 10

**RCA Output Jacks (OUTPUTS 1)* 11

**Balance XLR Output Jacks (OUTPUTS 2)* 12

**Connection of ACPower Cord* 13

6. Basic Operation 14

**Turn on the power* 15

**Playback*

**Turning off the power* 16

7. How To Replace fuse 17

8. お手入れ / 規格・・ 18

「安全上のご注意」

オーディオ機器の正しい使いかた

ご使用になる前に必ずこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」を良く
お読みの上、正しくお使い下さい。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管して下さい。

●絵表示について

この「安全上のご注意」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

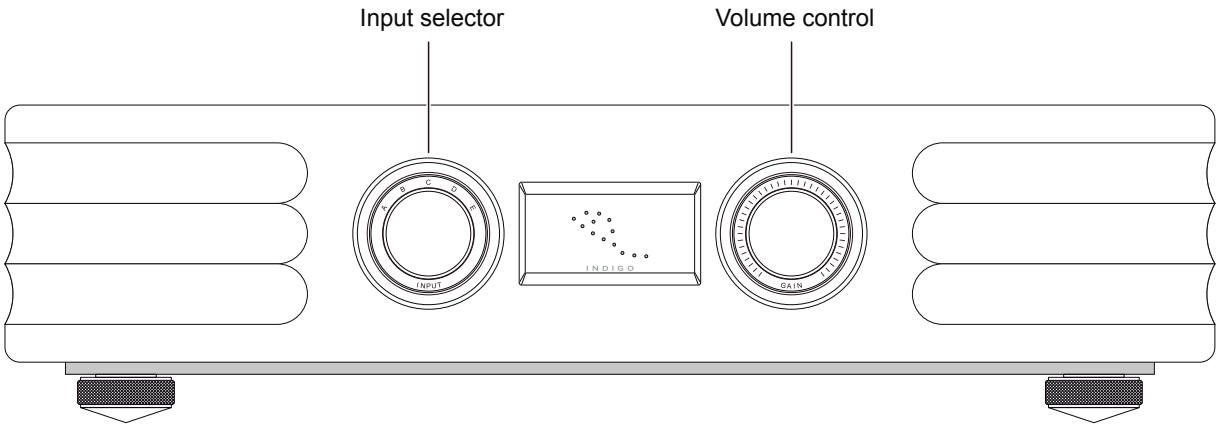
⚠ **WARNING**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **CAUTION**	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	△記号は注意・警告を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や 近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為の強制をしたり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

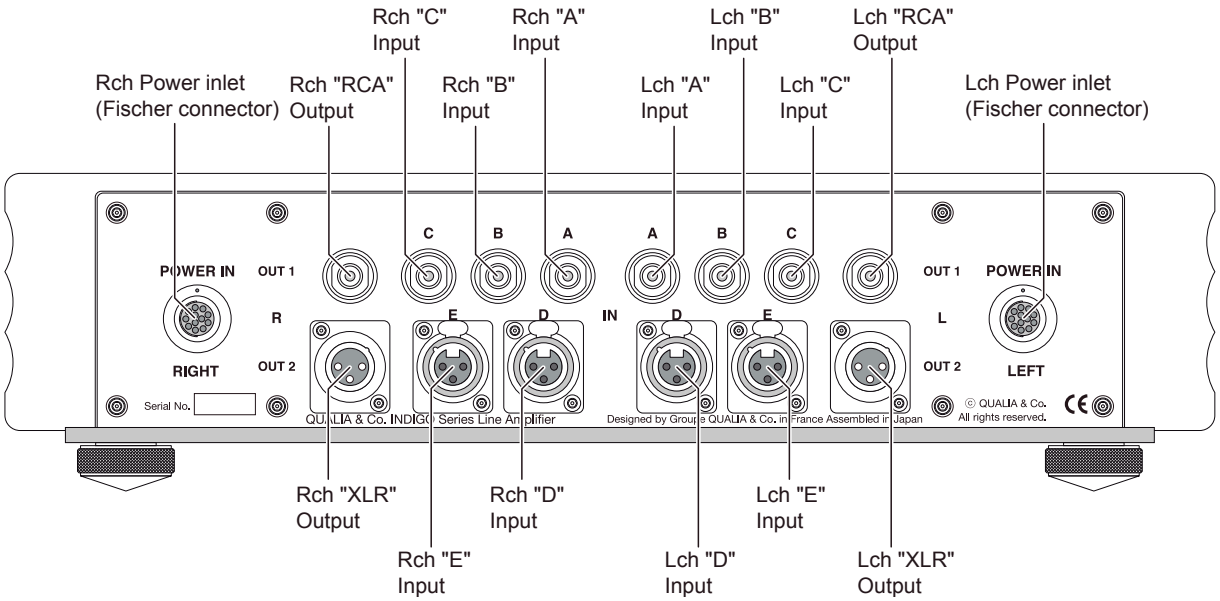
1 本体各部の名称

INDIGO LINE Main Unit

(1) Front Panel



(2) Rear Panel



INPUT　A – C: RCA connectors

INPUT　D – E: XLR connectors (PIN 2 HOT +)

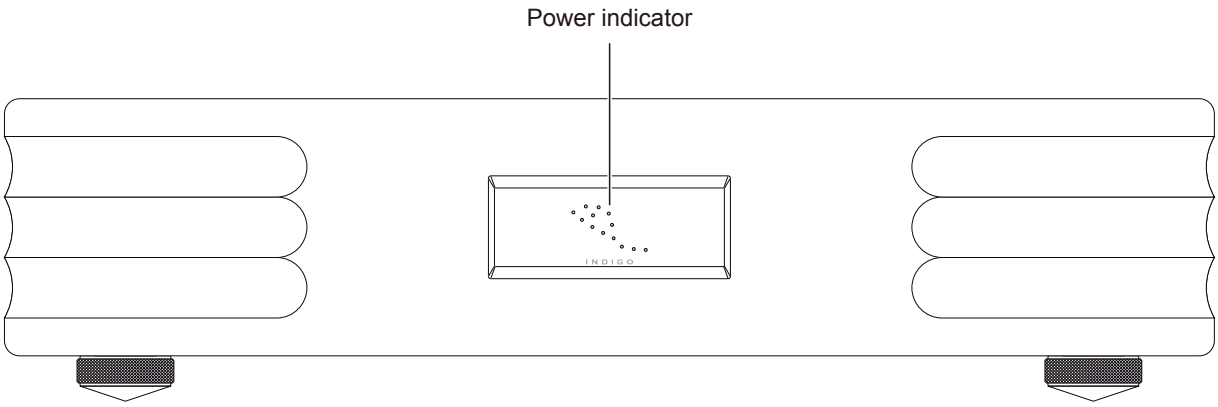
OUTPUT 1 : RCA connectors

OUTPUT 2 : XLR type connectors (PIN 2 HOT +)

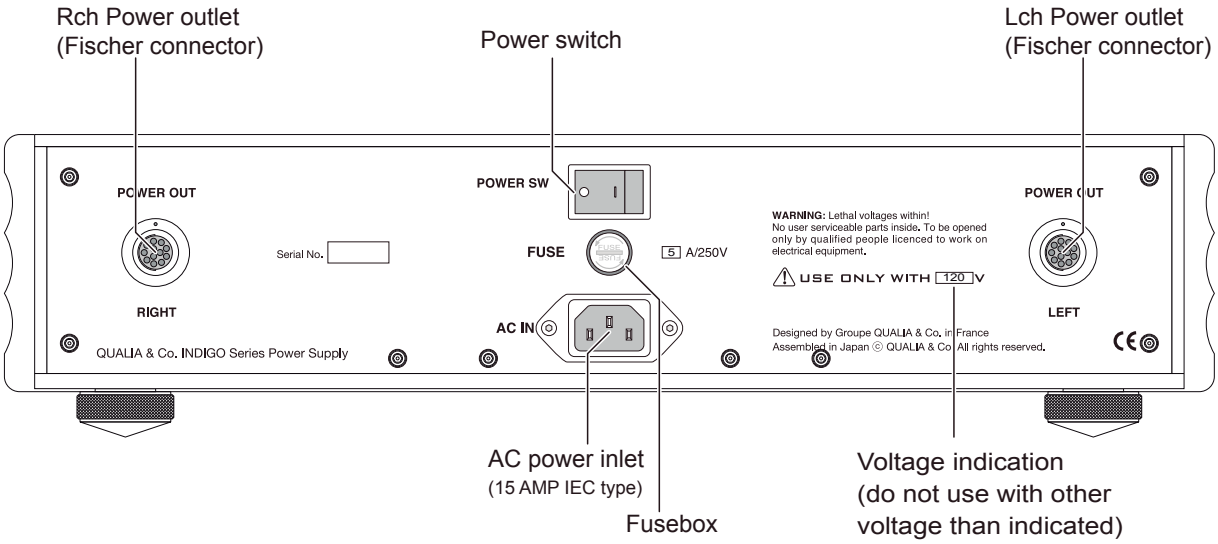
POWER IN (Fischer connector) : これは INDIGO Series Power Supply（電源部）からの Power Cable（電源供給ケーブル）を接続するために使用するコネクターです。

INDIGO LINE Power Supply

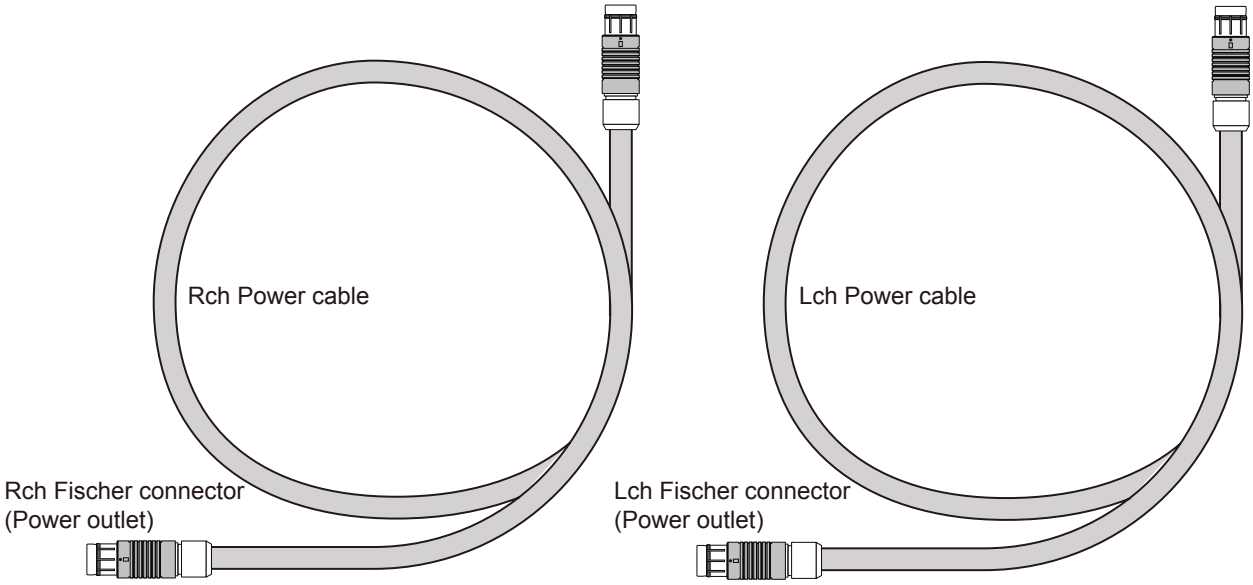
(1) Front Panel



(2) Rear Panel



(3) Power Cables



●設置に関して

⚠ WARNING

換気や放熱が十分行われる場所に設置して下さい。

とくに、直射日光が当たる場所やストーブのすぐそばなど異常に温度が高くなる場所、湿気やホコリの多い場所に設置すると、放熱がスムーズでも、故障の原因となります。

また最悪の場合、火災の原因となる場合がありますので、このような場所への設置は避けて下さい

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないで下さい。

不安定な場所に設置すると、製品の性能が十分に発揮されません。

また、特にお子様にはご注意下さい。落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

十分に間隔を置いて下さい。

本機を設置する場合は、本体は出来る限りラックの天板に設置して下さい。

ラックの中に設置する場合は、本体の天面から 10cm 以上、背面から 15cm 以上のすきまを開けて下さい。内部に熱がこもり故障の原因となります。最悪の場合、火災の原因となることがあります。

電源部は、本体と十分離して、設置して下さい。電源部の上に本体を重ねて置くことは絶対に行わないで下さい。

本機の上に物を置かないで下さい。

花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないで下さい。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

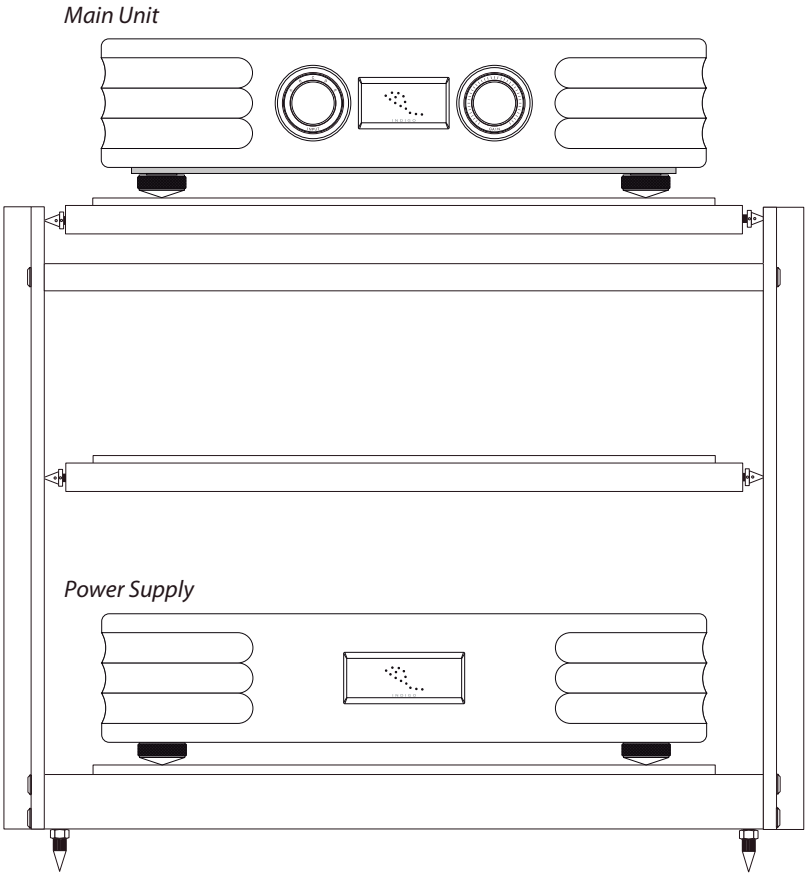
異物を入れないで下さい。

本体の通風孔から内部に金属類や燃えやすい物など、いかなる物も差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。火災・感電の原因となります。

特に小さなお子様には十分気を付けて、可能な限りお子様の手の届かない場所に設置するようにして下さい。

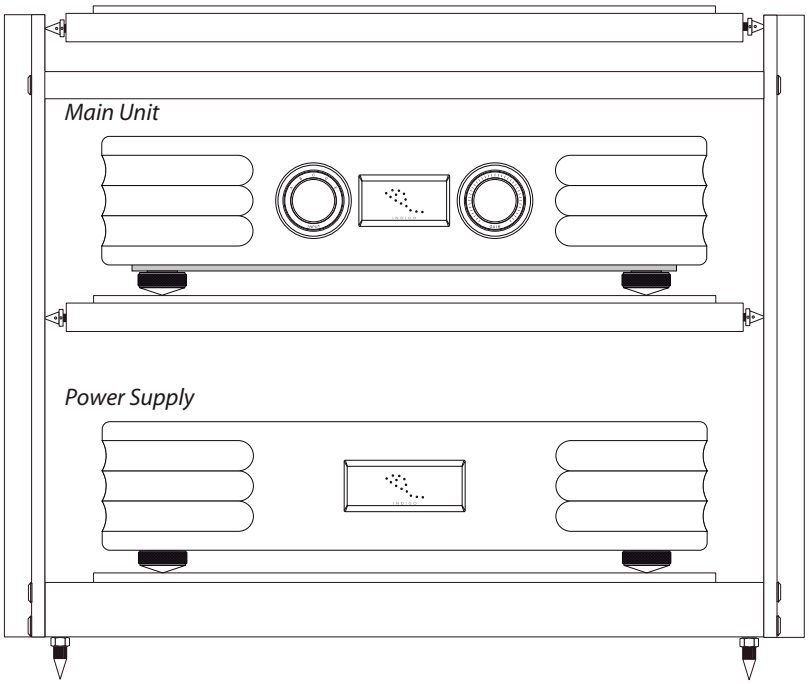
(1) 弊社推奨の設置

INDIGO LINE AMPLIFIER 本体は可能な限り、しっかりとしたラックの天板に設置して下さい。
電源部は本体から離して設置して下さい。



(2) ラックの中に設置する場合

INDIGO LINE AMPLIFIER 本体は、しっかりとした側板・背面板のないオープンタイプのラックに設置して下さい。
電源部は本体から離して設置して下さい。
止む終えず側板や背面板のあるラックをご使用になる場合は、上面 10cm、背面 15cm 以上間隔を確保して下さい。
また、背面板の通風孔が小さい場合は大きく開けたり、ガラス扉付のラックの場合は扉を外すように
（放熱の問題だけでなく音質上も好ましくない理由から）対策して下さい。

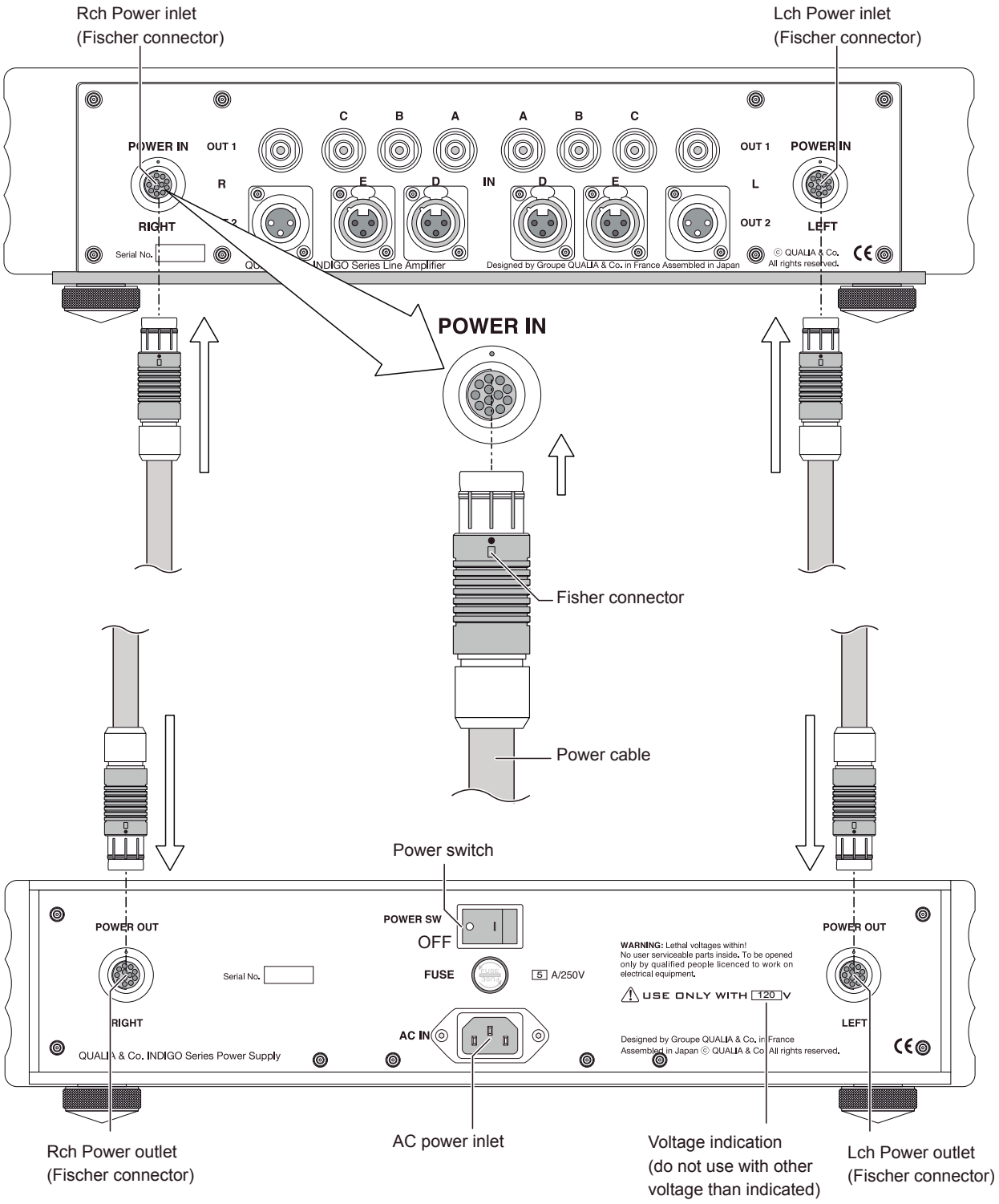


●電源供給ケーブルの接続

⚠ WARNING

※電源供給ケーブル（Power cable）の装着は必ず AC 電源コードを装着する前に行って下さい。
接続の順番を間違えると、本体を破損するばかりか感電する恐れがありますので必ず
下記の通り行って下さい。

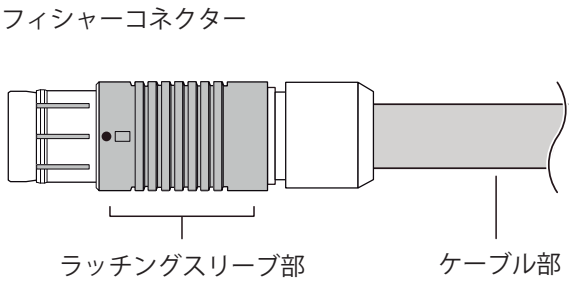
電源供給ケーブル (Power cable) は、はじめに電源部（Power Supply）の POWER OUT（RIGHT）ソケットにフィッシャーコネクターの赤いドットを上に向けて装着します。次に本体の POWER IN(RIGHT) ソケットにフィッシャーコネクターの赤いドットを上に向けて装着します。次に LEFT 側も同様に接続します。
差し込む向きが厳格に決められておりますので少しでも合っていないと装着出来ませんので慎重に、
行って下さい。奥までしっかりと装着しますと、ロックがかかり抜けなくなります。確実に装着して下さい。
電源は非常に高圧がかかりますので確実にコネクターが装着されているか必ず確認して下さい。



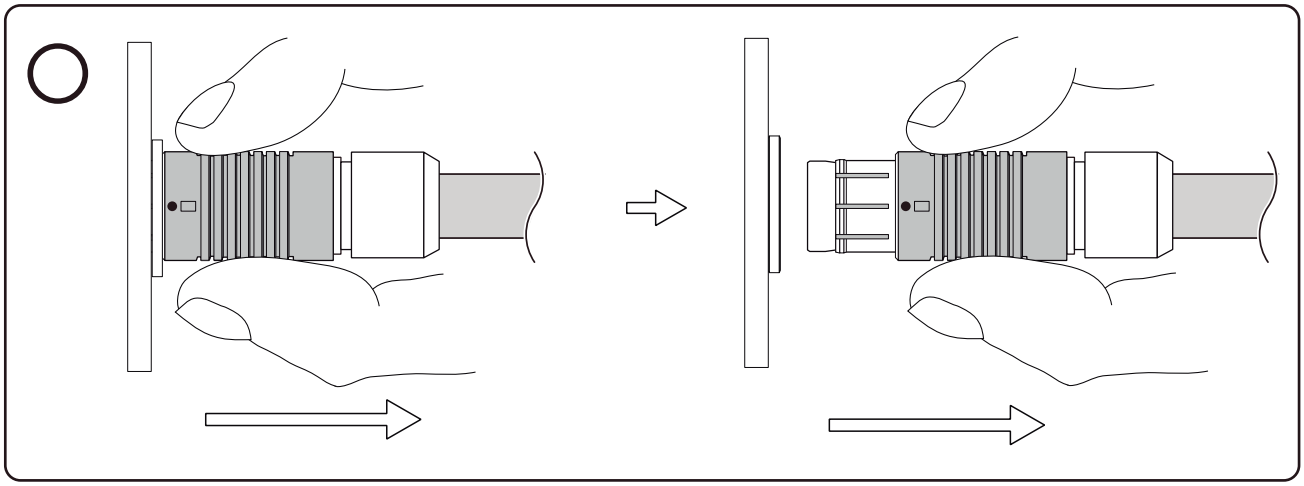
●電源供給ケーブルの取り外し

1. 電源部の電源スイッチを OFF にする。
2. AC 電源コード（AC Power coad）を壁コンセント（電源タップ）から外す。
3. 本体を片手で支え、もう片方の手で、電源供給ケーブル（Power cable）のフィッシャーコネクターの
   ラッチングスリーブ部を持って引くとロックが解除され、簡単に引き抜くことが出来ます。

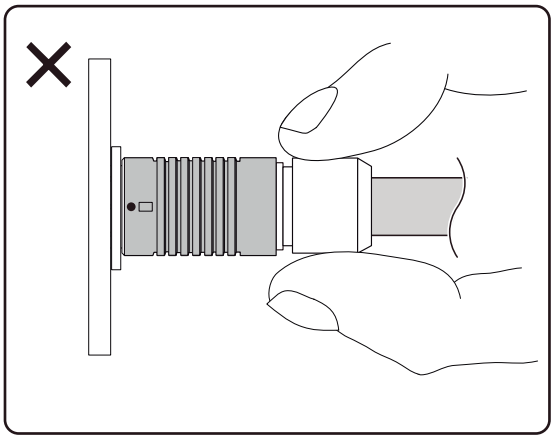
※ラッチングスリーブ部以外を持って引いてもロックが解除されませんのでご注意下さい。
  無理に引っ張ると破損します。



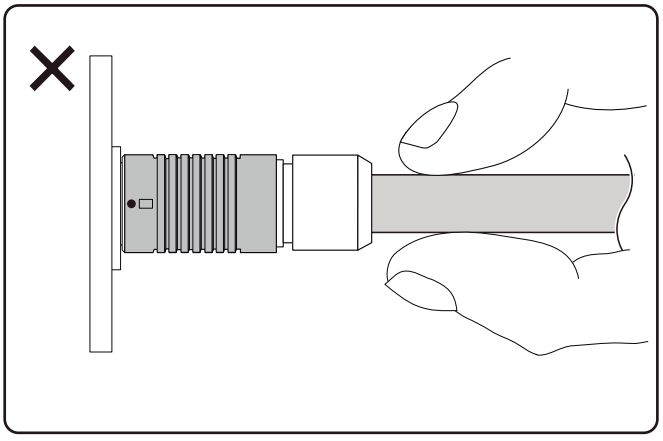
正しい取り外し方



行ってはいけないこと



× フィッシャーコネクターの根元を持って引っ張る



× ケーブルそのものを持って引っ張る

●接続方法（入力）

●ケーブルを接続する際には、電源ケーブルが接続されていないことを確認して下さい。
電源を入れたまま行いますと、本体および接続する機器を破損するばかりか、感電の原因となることがあります。

●機器を接続する前に、各々の機器の取扱説明書を良く読み、電源を切り、説明に従って接続して下さい。接続ケーブルは良質のものを使用して下さい。

● RCA インターコネクトケーブルの着脱は、プラグを回さずに真っ直ぐに行って下さい。
プラグを回しながら着脱を行いますと、本体側の端子が一緒に回って断線することがありますので、必ず真っ直ぐ着脱を行って下さい。

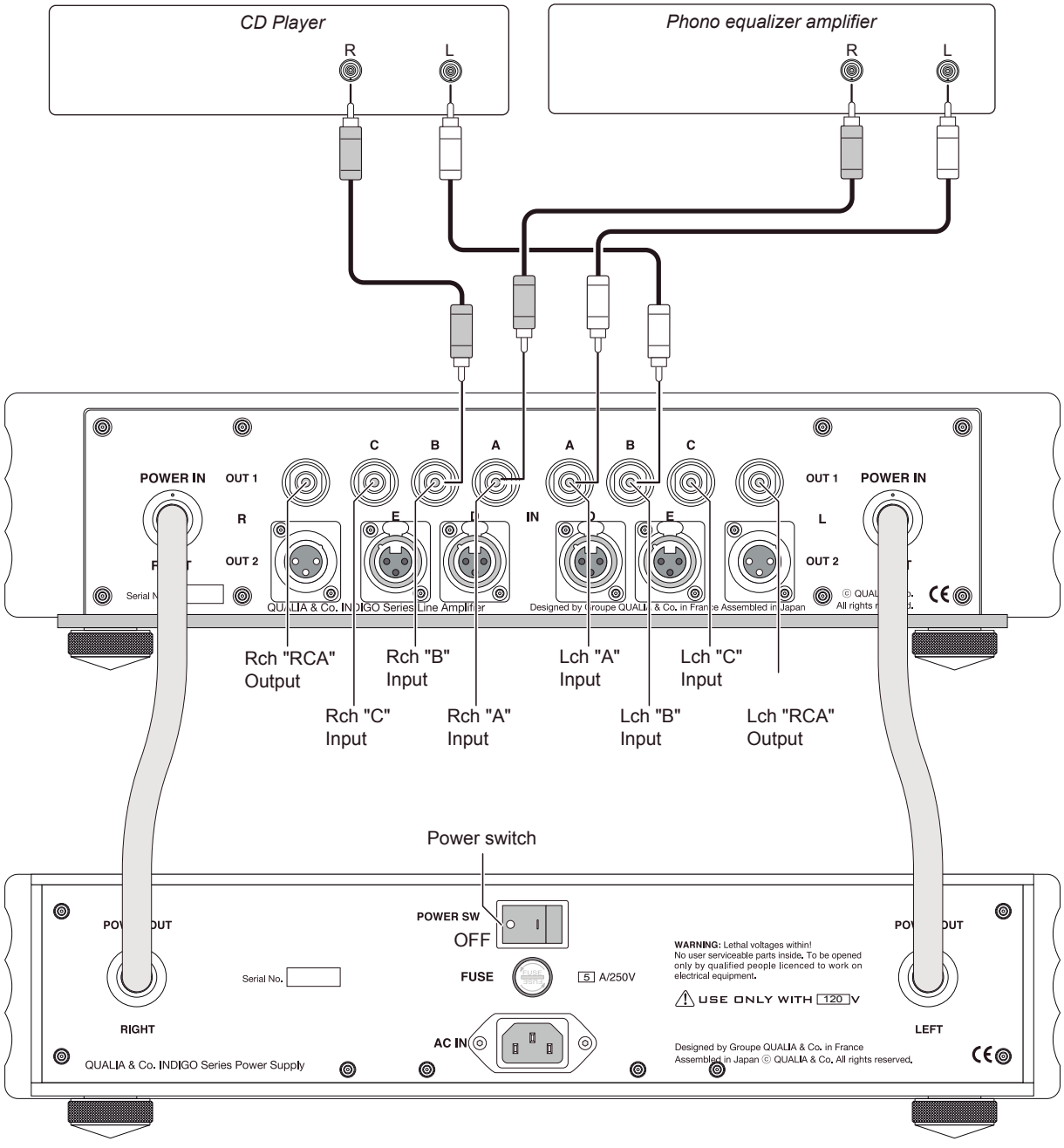
RCA アンバランス接続

お手持ちのオーディオ機器を接続します。

※接続を行う前に、オーディオ機器の端子およびケーブルのプラグのクリーニングを行って下さい。

アンバランス入力端子 (A, B, C,)

RCA ジャックのアンバランス入力端子で、A, B, C, の 3 系統を装備しています。
端子の配列を間違えないよう、接続前に必ず確認して下さい。
お手持ちの CD プレーヤー , D/A コンバーター , DVD AUDIO プレーヤー , チューナー , 等のアンバランス出力端子と RCA インターコネクトケーブルで接続します。(A, B, C, の 3 系統の入力は同じ働きをします。)



※本機はバランスアンプではありませんので、バランスケーブルを接続する際には、必ず接続機器の極性と
本機の極性を合わせて下さい。ケーブルの加工が必要な場合は、販売店またはケーブルメーカーにご相談下さい。
極性が合っていない場合、音が出ないばかりか、本体および接続する機器を破損する原因となります。

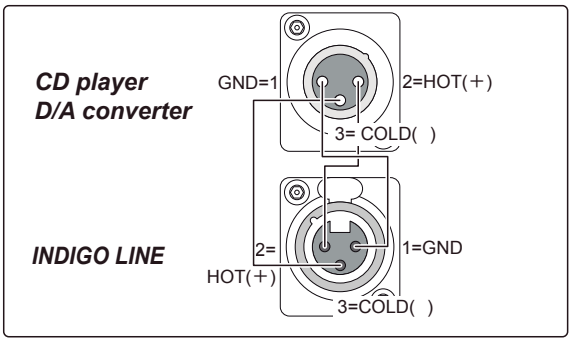
XLR アンバランス端子接続

XLR バランス入力端子 (D, E,)

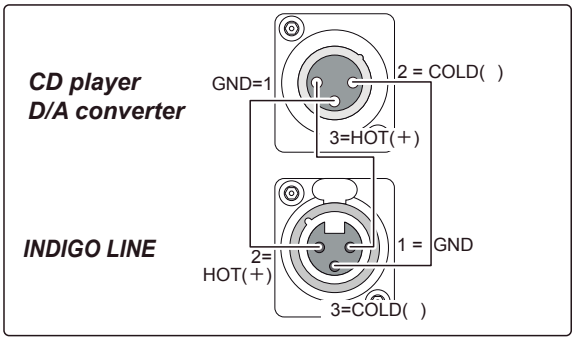
CD player、D/A converter 等の XLR バランス出力端子からのバランスケーブルを接続します。

※バランス入力端子の極性は、1 番 = グラウンド , 2 番 =HOT(＋), 3 番 =COLD(－) です。

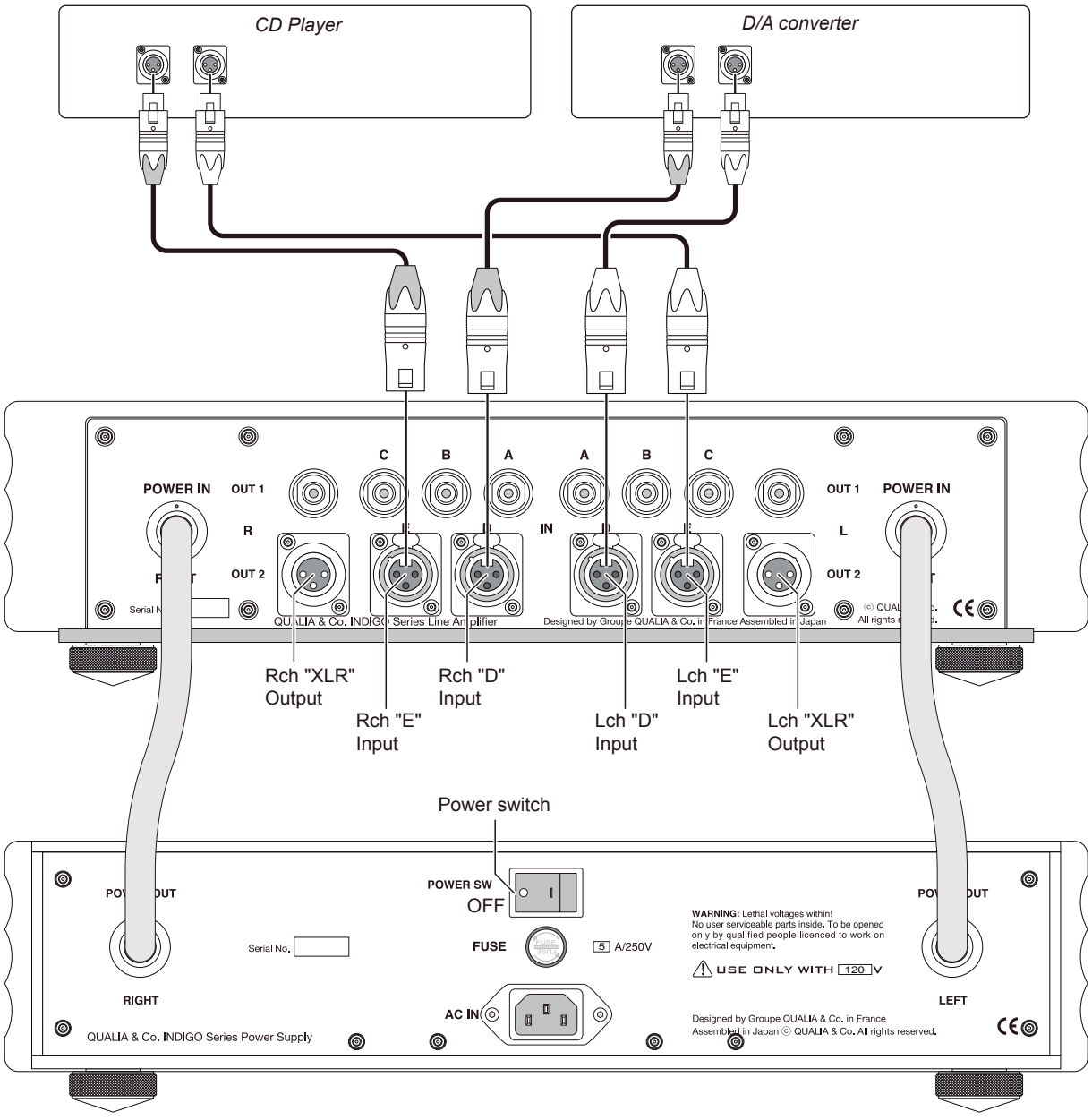
CD player、D/A converter 等の XLR バランス出力端子と INDIGO LINE の XLR バランス入力端子の接続における極性



CD player、D/A converter 等の極性が 2 番ホットの場合
※市販のバランスケーブルがそのままで使用出来ます。



CD player、D/A converter 等の極性が 3 番ホットの場合
※バランスケーブルの加工が必要です。



●接続方法（出力）

⚠ CAUTION

●ケーブルを接続する際には、電源ケーブルが接続されていないことを確認して下さい。
電源を入れたまま行いますと、本体および接続する機器を破損するばかりか、感電の原因となることがあります。

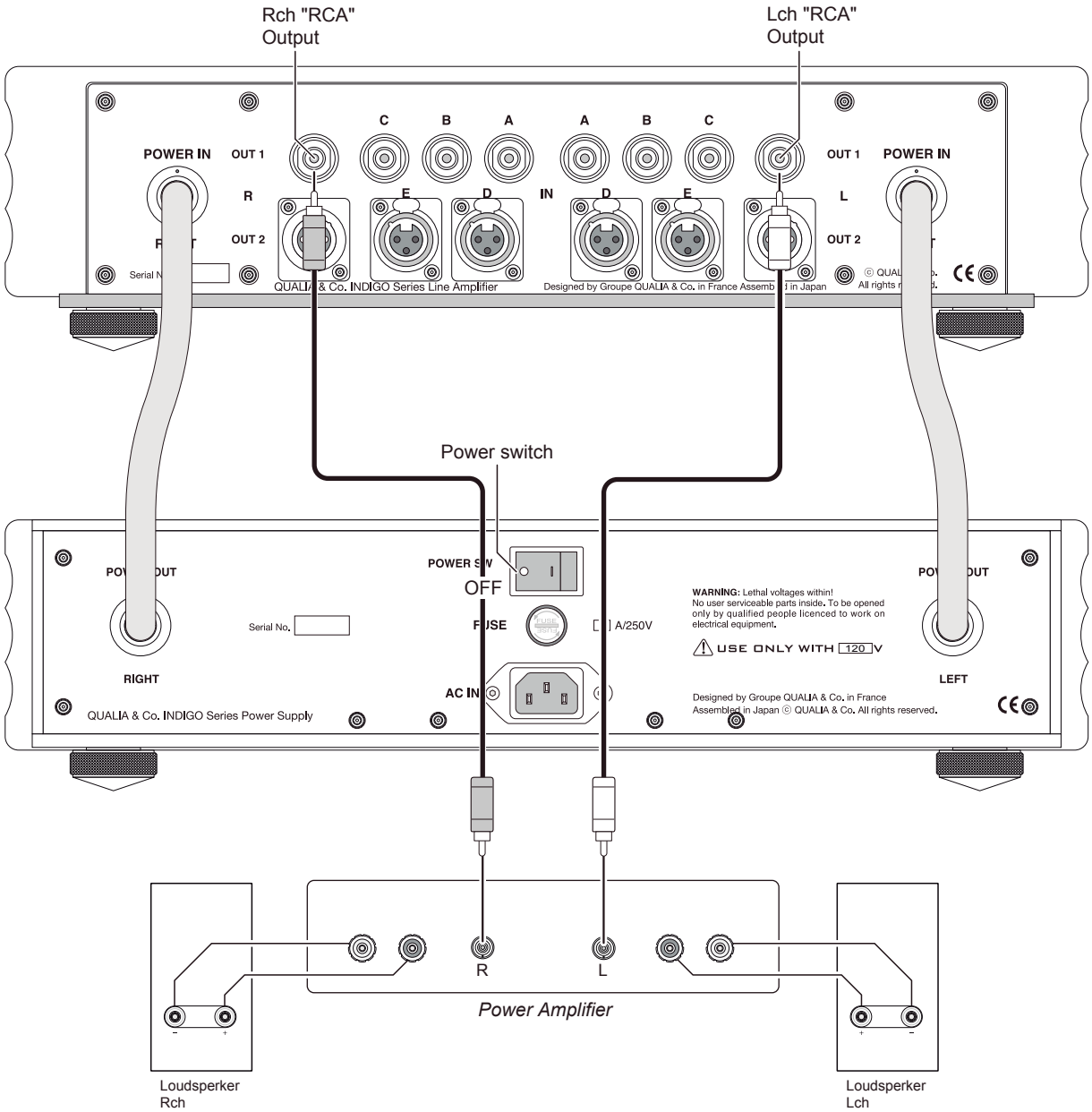
●接続する前に、パワーアンプの取扱説明書を良く読み、電源を切り、説明に従って接続して下さい。
接続ケーブルは良質のものを使用して下さい。

●絶対に出力端子をショートしないで下さい。
アンバランス出力端子には、絶対にショートピンを装着しないで下さい。
出力端子をショートしますと内部回路が破損します。

● RCA インターコネクトケーブルの着脱は、プラグを回さずに真っ直ぐに行って下さい。
プラグを回しながら着脱を行いますと、本体側の端子が一緒に回って断線することがありますので、必ず真っ直ぐ着脱を行って下さい。

アンバランス出力端子 (OUT 1)

RCA ジャックのアンバランス出力端子で、OUT 1 を 1 系統を装備しています。
お手持ちのパワーアンプのアンバランス入力端子と RCA インターコネクトケーブルで接続します。



⚠ CAUTION

●ケーブルを接続する際には、電源ケーブルが接続されていないことを確認して下さい。
電源を入れたまま行いますと、本体および接続する機器を破損するばかりか、感電の原因となることがあり ます。

●接続する前に、パワーアンプの取扱説明書を良く読み、電源を切り、説明に従って接続して下さい。
接続ケーブルは良質のものを使用して下さい。

●絶対に出力端子をショートしないで下さい。
アンバランス出力端子には、絶対にショートピンを装着しないで下さい。
出力端子をショートしますと内部回路 が破損します。

●本機はバランスアンプではありませんので、ケーブルを接続する際には、必ず接続機器の極性と本機の極性を合わせて下さい。ケーブルの加工が必要な場合は、販売店またはケーブルメーカーにご相談下さい。
極性が合っていない場合、音が出ないばかりか、本体および接続する機器を破損する原因となります。

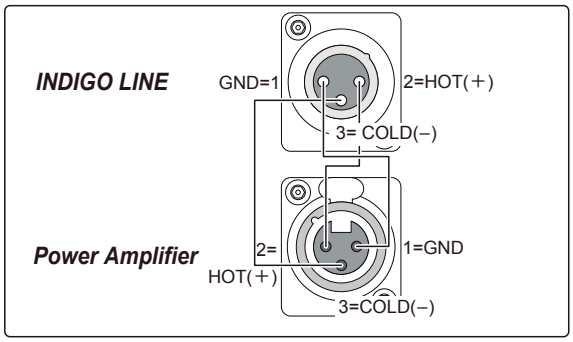
XLR アンバランス端子接続

XLR バランス入力端子

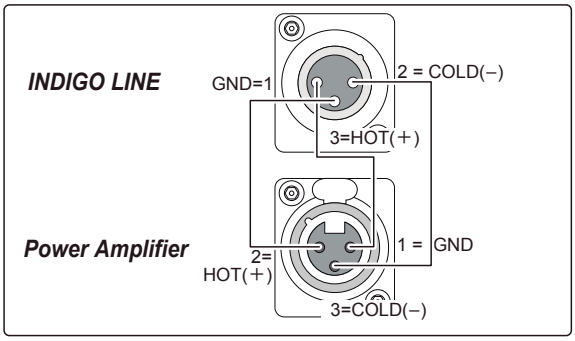
これは XLR バランス入力端子です。プリアンプの XLR バランス出力端子からのバランスケーブルを接続します。

※バランス入力端子の極性は、1 番 = グラウンド , 2 番 =HOT(＋), 3 番 =COLD(－) です。

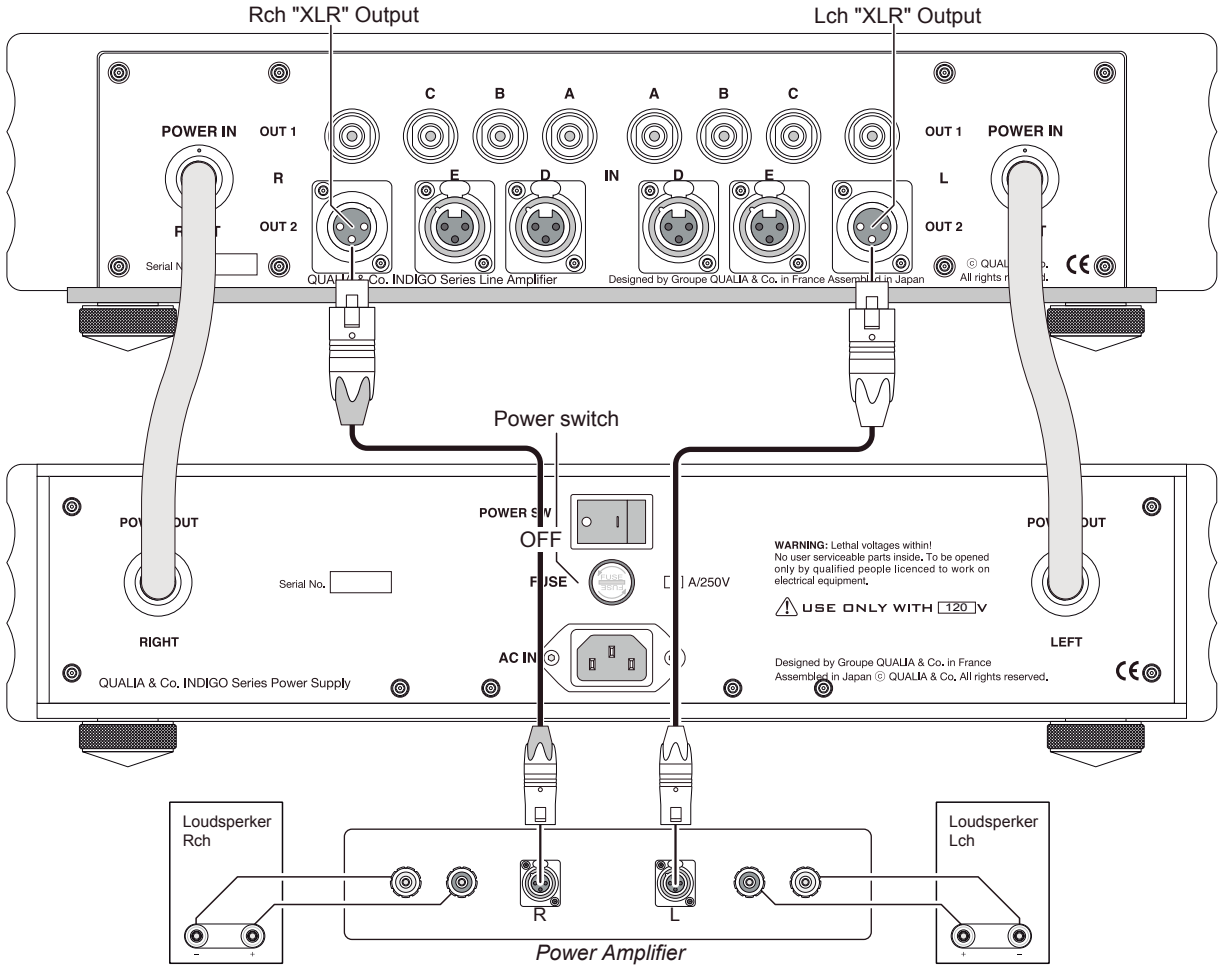
INDIGO LINE の XLR バランス出力端子と Power Amplifier の XLR バランス入力端子の接続における極性



Power Amplifier の極性が 2 番ホットの場合
※市販のバランスケーブルがそのままで使用出来ます。



Power Amplifier の極性が 3 番ホットの場合
※バランスケーブルの加工が必要です。



●電源コードの接続

⚠WARNING

●電源コードを接続する前に、入出力端子にケーブルが確実に接続されているか、電源スイッチがオフの状態であることをもう一度確認してください。

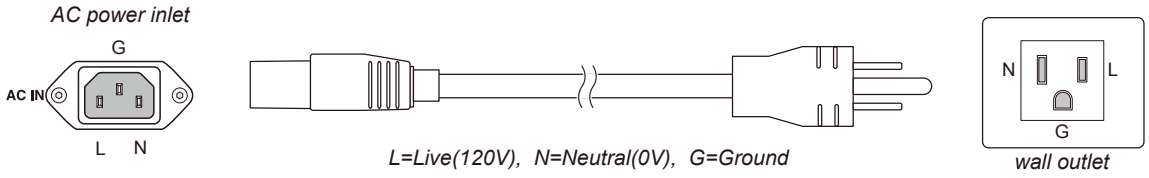
●電源コードの上に重いものを乗せたり、本機の下敷きにならないようにして下さい。
コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

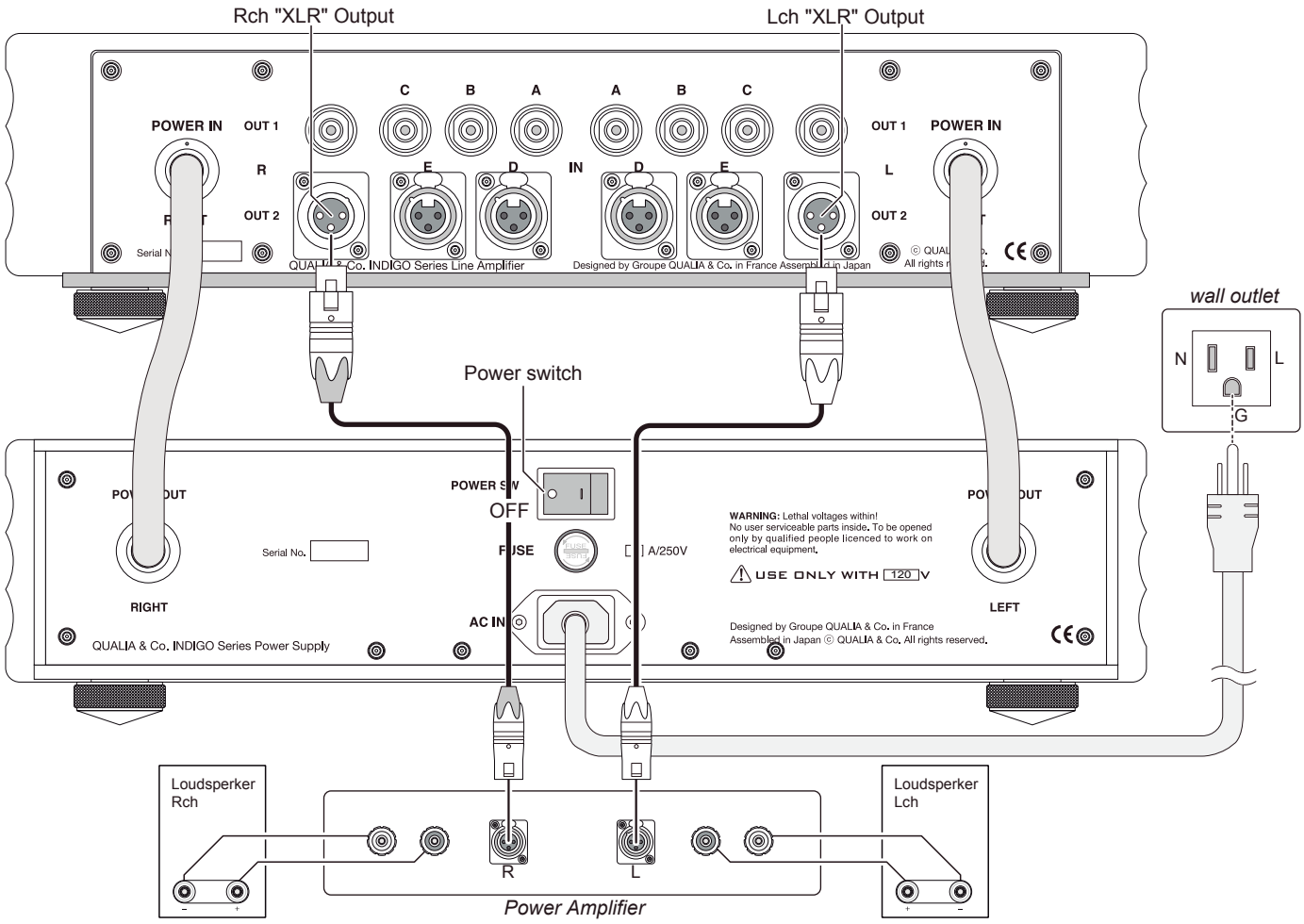
●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。
本機を破損するばかりか、火災・感電の原因となります。

AC 電源入力インレット (AC POWER INLET)

本体の AC 電源入力インレットは 3P インレットタイプです。まず初めに、電源スイッチがオフになっていることを確認してから、AC 電源コード (AC Power Cord) を電源部の AC 電源入力インレットに装着します。

その後、壁コンセントに、電源コードのプラグを接続します。
壁コンセントが 3P タイプは、極性が決まりますので、そのまましっかりと接続します。





● 操作方法

⚠ CAUTION

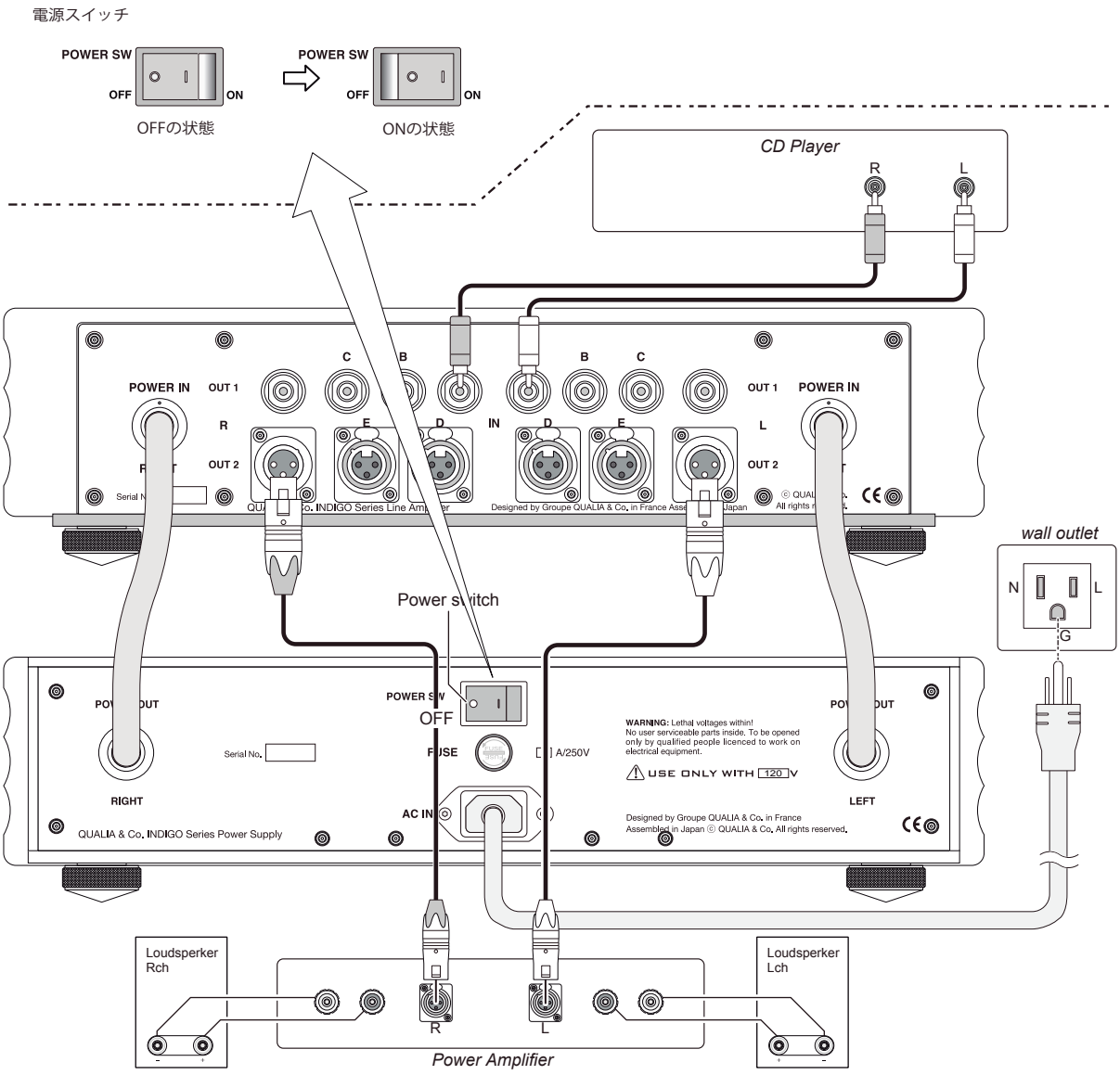
●電源を入れる前に、ケーブルの接続が確実に行われているかどうか、もう一度確認して下さい。

●電源を入れる前に、INDIGO LINE のボリュームが最小に絞りきられているか、必ず確認して下さい。
ボリュームが　上がった状態で、本機の電源を入れると、スピーカーの破損の原因となります。

(1) INDIGO LINE の電源を入れる

電源部（Power Supply）リアパネルにある電源スイッチを、後ろから見て右側（フロントパネルから見ると左側）に倒して、ON にします

○電源が入りますと本体、電源部のフロントパネルにあるインジケーターが点灯します。



(2) 5 分ほど待ってから、ソース機器、パワーアンプの順番で電源を入れます。

本機は、音質上の観点から、タイム・ミューティング回路を搭載しておりません。

従いまして、各回路が安定した動作状態に入るまで、5 分ほど待ってから行なってください。

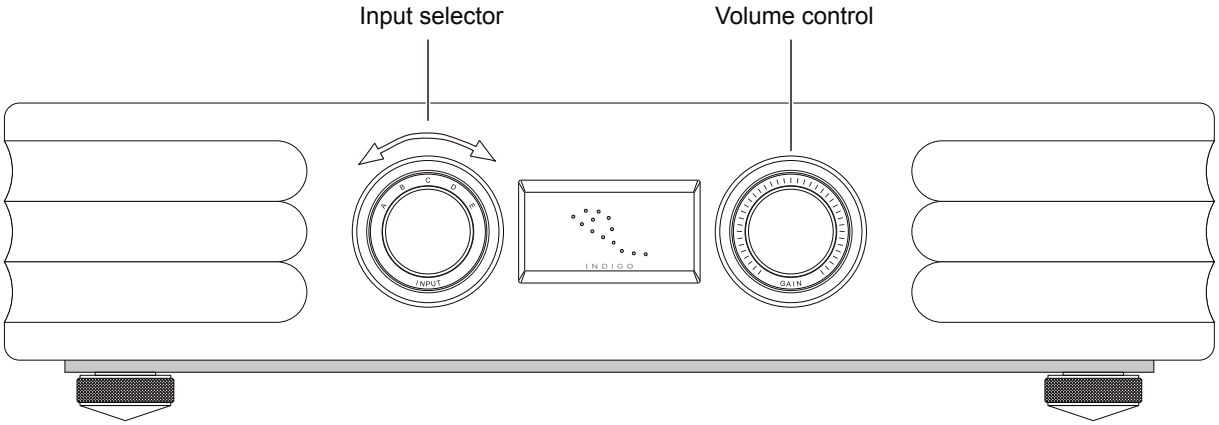
電源を入れる順番

INDIGO LINE のボリュームを絞り、電源を入れる	⇨	CD、等のソース機器の電源を入れる	⇨	パワーアンプの電源を入れる

(3) 希望のプログラムソースを選択する。

本体のフロントに装備されているインプットセレクターで希望のプログラムソースを選択します。

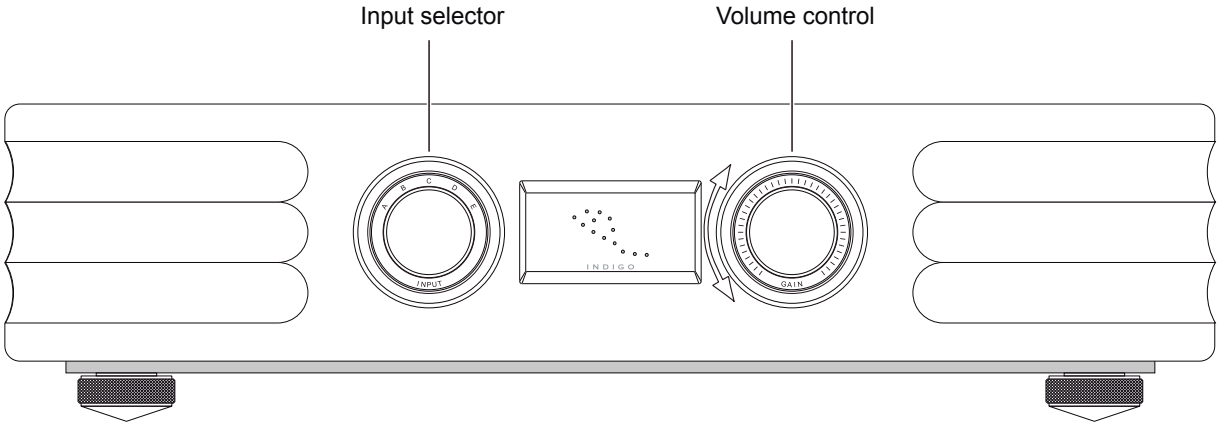
フロントパネルの左側にあるノブが、インプット・セレクト・ノブです



(4) 希望の音量にする。

レコードを演奏状態、または CD プレーヤーを再生状態にしてから、
本体のフロントパネルにあるボリューム・コントロール・ノブを、徐々に時計回り（右回り）に回して
希望の音量にする。

フロントパネルの右側にあるノブが、ボリューム・コントロール・ノブです



本機のボリューム・コントロールは、最小値から徐々に音量が上がるよう設計しておりますが、ボリューム・コントロール・ノブが 1 時以上のポジションを越えると音量増加が大きくなりますので、一気にボリューム・コントロール・ノブを回しますと、スピーカーを破損する恐れがありますので、十分気を付けて下さい。

(5) 他のプログラム・ソースを選択する。

他のプログラムソースを選択するときには、必ずボリュームを絞ってから操作してください。

入力切替を行うときの操作手順

INDIGO LINE の
ボリュームを絞る
⇨
ソース機器の電源が
入っていることを確認する
⇨
インプット・セレクターで
希望の入力を選択する
⇩
ソース機器を再生状態にしてから、
本機のボリュームを徐々に上げ希望
の音量にする

(6) 電源を切る

電源を切る場合は次の手順で行います。

プリアンプのボリュームを最小に絞り、パワーアンプの電源を切った後、本機の電源を切ります。

○電源を切る手順

INDIGO LINE の ボリュームを絞る ⇨ パワーアンプの 電源を切る ⇨ ソース機器の 電源を切る ⇨ INDIGO LINE の 電源を切る

より良い音質でお楽しみいただくには

弊社推奨の設置を行い、放熱の問題がない場合は、本機は常時通電状態でご使用下さい。

この時は、必ずプリアンプのボリュームを最小に絞った状態にして下さい。

微少信号を取り扱う性格上、回路が最良の状態になるのに時間がかかります。

常時通電状態でご使用いただくことで、最良のサウンドパフォーマンスを実現できます。

CAUTION

旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを壁コンセントから抜いて下さい。

火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないで下さい。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いて下さい。

WARNING

台風の接近、大雨・雷の発生などで、停電や落雷の恐れがあるときは、必ず電源プラグを壁コンセントから抜いて下さい。

突然の停電や落雷によって本体や他の接続機器にダメージを与えるだけでなく、火災・感電の原因となることがあります。

●ハムノイズなどが発生する場合

INDIGO LINE は広帯域の増幅を行うアンプです。電源に乗ってしまう高周波ノイズやラインケーブルに乗ってしまうデジタルノイズに敏感ですので、様々な要因が考えられます。

● CD プレーヤー、D/A コンバーター、パソコンなどに代表されるデジタルノイズは、システムのプリアンプやパワーアンプに大きく影響を及ぼします。発生元から他の機器に影響が出ないよう電源の取る場所など工夫し、ノイ ズフィルター搭載のタップやアイソレイト電源などを用いてください。

●ラインケーブルからノイズが飛び込んでしまう場合があります。

アンバランスケーブルの場合は、注意が必要です。製品によっては、ノイズに弱いものがあります（高級ケーブルに多い）ので、ごく普通のケーブルで試すとノイズが消える場合があります。試してみてください。

●グラウンドループについて考慮しましょう。

最近のアース付き電源コードを多用することにより、コンセントに接続される機器のグラウンドが共通となり、信号ケーブルとの関係で複雑にグラウンドループが発生します。その結果、ハムノイズが発生する場合があり原因追及が困難になる場合があります。

この場合は、3P-2P アダプターを装着して、電源のグラウンドを浮かせてください。システム全体の問題なので、本機（プリアンプ）の場合が良いか、パワーアンプの場合が良いか試してみないと分かりません。最良の箇所を見つけてください。

●金属製のラックを使用している場合、ケーブル類がラックに接触していて、システム全体に影響を及ぼす場合があります。

ケーブル類はラックの金属部に接触しないよう、自然に弧を描くように這わせるか、ケーブルが重たい場合は木片などを挟んで浮かせてください。

⚠WARNING

●ヒューズの交換

※ヒューズ交換は弊社サービス部から指示があったときのみ行ってください。
指示なしで勝手に交換して本体が故障したり、交換する際に人体に影響が出ても弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

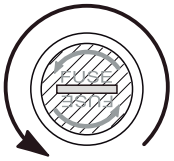
※ヒューズ交換を行うときは必ず電源コードを、本体または壁コンセントから抜いて行ってください。
電源コードを、本体または壁コンセントに入れたまま行いますと、感電しますので絶対にお止めください。
交換する際に人体に影響が出ても弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

ヒューズホルダーのヒューズが切れた場合

本機のボリュームを絞り、フロントパネルの電源スイッチを切った後、電源コードを本体または壁コンセントから抜きます。

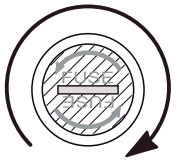
まず初めに弊社サービスに連絡をしてください。
その際に、どういう状況でヒューズが切れたかをお伝えください。
※通常ヒューズは、電源の変動では切れないよう考えられておりますが、予測をはるかに越えた変動やノイズの混入、道路沿いに面した環境下での違法無線の大出力妨害電波などにより、本体に不具合が発生していなくてもヒューズが切れる場合がございます。
※弊社サービス部より交換の指示が出た場合に限り、スピーカーケーブルを外した後、右記のように行います。

ヒューズ交換が終わりましたら、電源コードを装着します。
電源スイッチを入れます。
新しいヒューズに交換しても、切れる場合は、本体の故障の可能性が有ります。販売店または弊社までご相談下さい。
ヒューズは "6.35mm φ× 31.8mmL 250V 8A" セミタイムラグ・タイプです。



反時計回りに回す

マイナスドライバーでヒューズホルダーのフタを押しながら反時計回りに回してください。
切れたヒューズを取り替えてください。
ヒューズは 6.35mm φ× 31.8mmL 250V 8A セミタイムラグ・タイプです。



時計回りに回す

ヒューズを取り替えた後、上ブタをマイナスドライバーで押しながら時計回りに回して、確実にロックします。

●本機の異常が発生した場合

本体の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対に外さないで下さい。また、改造しないで下さい。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は、販売店または弊社サービス部にご依頼下さい。

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の時は、使用をすぐやめて下さい。
すぐにシステム全てのアンプの電源を切り、本機の電源スイッチを切り、電源プラグを壁コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービス部に修理をご依頼下さい。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

万一、内部に水や異物が入った場合、また本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐ使用をやめて下さい。すぐにシステム全てのアンプの電源を切り、本機の電源スイッチを切り、電源プラグを壁コンセントから抜いて、販売店または弊社サービス部に修理をご依頼下さい。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

インジケーターが消え、動作が停止した場合、内部に何らかのトラブルが発生しヒューズが切れた可能性があります。すぐ使用をやめて下さい。
すぐにシステム全てのアンプの電源を切り、本機の電源スイッチを切り、電源プラグを壁コンセントから抜いて、販売店または弊社サービス部に修理をご依頼下さい。

●お手入れについて

お手入れの際や、移動させる場合は、本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグを壁コンセントから抜き、
外部の接続コードを外してから行って下さい。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れは、市販のクリーニングクロスなどの柔らかい布で拭いて下さい。
汚れがひどい場合は、水で濡らし堅く絞った柔らかい布で丁寧に汚れを落として下さい。
くれぐれも酸性の洗剤や、ベンジン、シンナーなどの溶剤はキャビネットを傷めますので絶対に使用しないで下さい。

規　格

ゲイン	：26dB
入力インピーダンス	：10k Ω
出力インピーダンス	：50 Ω
入　　力	：LINE 入力 / アンバランス端子 (RCA) × 3 系統
	：LINE 入力 / バランス端子 (XLR) × 2 系統
出　　力	：アンバランス端子 (RCA) × 1 系統
	：バランス端子 (XLR) × 1 系統
電源電圧	：AC 100V (50Hz / 60Hz)
消費電力	：45W
外形寸法	：メインユニット 400(W) × 105(H) × 300(D)mm (ノブ・端子含まず)
	：電源ユニット　正面パネル400(W)・本体380(W) × 100(H) × 300(D)mm (ノブ・端子含まず)
重　　量	：メインユニット 20kg　電源ユニット 15kg

※規格および外観は予告なく変更することがあります。

Designed by Groupe QUALIA & COMPANY of America

Assembled in Japan　QUALIA & COMPANY of America All rights reserved